



- 写真① オスブレイ
- 写真② 打ち出の小槌
- 写真③ 加藤清正
- 写真④ 子どもみこしも負けてません
- 写真⑤ くまモンとダンスする深瀬さん (LINQ)
- 写真⑥ 大阿蘇蘇陽太鼓「喜楽」の太鼓
- 写真⑦ 「九州のへそ」でへそ踊り
- 写真⑧ チンドン愛好会
- 写真⑨ 小学生の鼓笛隊演奏
- 写真⑩ 火伏太鼓
- 写真⑪ 五ヶ瀬川に駆け込みます



火伏地藏祭

8月23日から24日にかけて、馬見原商店街で火伏地藏祭が開催されました。この祭りは1563年（永禄6年）、当時この地区で相次いだ火災を鎮めようと、お地藏様を火伏地藏尊蔵へ移したことから始まったと伝わっています。

祭りの初日は、蘇陽南小学校児童による火伏太鼓の力強い音色で祭りが始まり、各連合によるお囃子や、総踊りが行われました。

二日目にはこの祭りで一番の見所「勇壮裸みこし」では、みこしに乗せたお地藏様をふんどし姿の担ぎ手が商店街を練り歩き、途中の沿道からはお地藏様と担ぎ手に向かい水を浴びせながら、五ヶ瀬川に向かいました。五ヶ瀬川では火難よけを祈願して、地藏を何度も五ヶ瀬川に叩きつけ水しぶきを上げていました。

その他、踊り、家庭でつかう日用品を材料に作られた造りモノのパレードやステージイベントなど数多くの催し物が行われました。

